

よう YOU 来た通信

9・10月

第23号

編集：発行
土佐清水市企画財政課
地域づくり支援係
移住促進担当



住所：土佐清水市天神町11番2号
TEL：0880-82-1181
FAX：0880-82-2882

空が高くなり、白い雲がたなびく季節となりました。

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、秋には様々な楽しみ方がありますが
みなさまはどんな秋を楽しめますか？♪

実りの秋でもあり、土佐清水市には美味しいものがたくさんあるので、
私たちは今年も、もっぱら食欲の秋になりそうです/(^0^)/笑
みなさま、まだまだ暑い日も続きますのでお体には充分にお気を付けくださいませ。

はじめまして！東京都よりEターンして来ました、染谷輝夫です。

7月27日から地域おこし協力隊の移住促進担当に
任命されました東京都江戸川区出身の染谷輝夫
(そめやてるお)です。

私は長年商社で海外営業の仕事をしていました。
主に電子部品の売買取引で中国に出張・駐在していたので、
移住促進の仕事は初めてです。



地域おこし協力隊に応募したのは、私の妻が土佐清水市出身で今年2月に生まれた子供を、
自然豊かな地域で育てていくことが大切だと考えたのがきっかけです。

土佐清水市で山と海に囲まれて時を過ごすことは心が癒されると感じていますので、一人でも
多くの「土佐清水のファン」を増やし、「ここで暮らしたい」と思ってもらえる様、自分が感じ
た魅力を全力でアピールしたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。



高知暮らしフェア

高知県最大のリターン・イターン相談会

今年は8月から9月18日(金)までの期間、パソコンやスマートフォンから参加可能な「Zoom」を使ったオンラインで高知暮らしフェアを開催することとなりました。

移住担当者との相談、お仕事相談、住宅紹介など、盛りだくさんのメニューでみなさまをお待ちしています！

産地直送

市町村担当者とも いつでも、どこでも相談

電話
または
Zoomで

県内の全34市町村の移住担当者はみなさんの強い味方！
暮らしや住宅、お仕事情報などの相談ができます！

イチオシ

先輩移住者を動画で紹介

高知県の全地域の先輩移住者を動画で紹介！
あなたが思い浮かべる“暮らし”をしている方がいるかも！

看板メニュー

移住なんでも相談

移住・交流コンシェルジュが、
移住のステップや高知暮らしなど、
なんでもお答えします！



掘り出しもの！

いろいろ住宅情報

短期で滞在できるお試し住宅や、
賃貸・売買に関わらず地域の空き家情報など、
お好みの物件が見つかるかも！

高知暮らしフェアオンライン相談会

9月の土佐清水市スケジュール

※特設サイトにて事前のご予約が必要です。

- ・ 9/ 4 (金) 10:00～12:00 及び 13:00～16:00
- ・ 9/11 (金) 10:00～12:00 及び 13:00～16:00



高知暮らしフェア2020



問い合わせ先

(一社)高知県移住促進・人材確保センター

〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1-32こうち勤労センター5階
TEL:088-823-9336 E-mail:iju@iju-jinzai.kochi.jp

主催:(一社)高知県移住促進・人材確保センター 共催:高知県

移住・交流コンシェルジュ

フェイスブックでも情報提供しています



高知 移住コンシェルジュ



期間中に移住相談された方に

高知県の特産品
抽選でプレゼント!!

新・足摺海洋館 かつてない、海と自然のアドベンチャー

7月18日にグランドオープンした新・足摺海洋館 SATOUMI へ取材に行ってきました！移住促進サイト「なつかし」で紹介しています2019年にIターン移住された、企画広報担当の茂木みかほさんにお話をお伺いしてきました。

新・足摺海洋館 SATOUMI はいくつかのエリアに分かれており、館内は自然のミュージアムとして「森から海へ、夢を造る」をコンセプトに、幻想的な風景、波の打ち寄せる音、ほのかな潮の香り、磯の生き物との触れ合いなど五感を感じることができます。

1. 足摺の原生林 -いのちを育む源流の森-

館内には、海や川に棲んでいる約350種15,000点の生き物が展示されているとのこと、はやる気持ちを抑えながら進んでいくと、最初に出迎えてくれたのはプロジェクションマッピングを活かした「足摺の原生林エリア」です。

壁面にはカワセミが魚を捕らえる様子などが映しだされ、2018年、新種として確認された「トサミズサンショウウオ」など希少な生物が展示されています。

2階に上がると溪流・里山・河口コーナーでは、アマゴなどの川魚や、アクアマリンふくしまの水族館より引っ越してきたユーラシアカワウソの兄弟、「陸(リク)くん」と「海(カイ)くん」がお出迎えしてくれました！

夜行性のため、普段は寝ていることが多いのですが、水槽に手をついてかわいいポーズをとってくれました(^)v

2. プロローグ -ようこそ足摺・竜串へ-

ウミガメが足摺海底館をバックに泳いでおり、人懐っこいように手を振るとそっと寄ってきてくれました♪

3. 竜串湾 2F -サンゴが育む多様な生物-

2階のエリア最後となる竜串湾エリアは、大水槽を上から眺めることができるだけでなく、窓の向こうの竜串湾の景色が一体化したように見える工夫がされています。

また、タッチングコーナーも用意されており、ナマコ、ヒトデ、ウニなどの磯の生き物と触れ合うこともできます。(現在、中止中)



SATOUMI ンチャーミュージアム誕生！

暮らし」でも

豊かな森が豊かな海
惑で竜串湾の自然を



3. 竜串湾 1F -サンゴが育む多様な生物-

再び1階に降りると、円柱型の水槽に約1万匹ものイワシの群れがまるで大きな生き物のように泳いでいて、染谷隊員も思わずびっくり…(/・ω・)/

新・足摺海洋館最大の幅13.5m×水深5.6mの竜串湾大水槽では、さまざまなサンゴ礁をカラフルな熱帯魚が彩る海中風景が再現されており、2006年より飼育されている「シノメサカタザメ（※サメという名前ですが実はエイの仲間）」が悠々と泳いでいます。

また、熱帯の魚だけでなく温帯の魚も一緒に飼育されているなどの豆知識も教えていただきました。



4. 足摺の海 -足摺の海が、私たちにもたらす恵み-

黒潮が近くを流れる足摺の海に生息する生き物が展示されています。そんな中から一匹のロウソクイソギンポ（右の写真）と目が合い思わず写真をパシャリ！

貝殻からひょっこりと顔を出すかわいい横顔は訪れる人たちにも好評とのことですよ



5. 外洋 -黒潮が運ぶ、多様な生き物たち-

側面から上面まで繋がっている外洋水槽には、清水サバ（ゴマサバ）やエイなどが優雅に泳いでおり、下から眺めるとまるで海の中にいるかのようです。

また「海の宝石」と言われるウミウシや、ふわふわ漂うクラゲたちは、幻想的で癒されました。



6. 深海 -暗い海に広がる、神秘の世界-

主に室戸沖の深海からやってきた生物を展示しています。大きな目や口など一風変わった見た目をしていくものも多く、私たちが見るができない深海の世界の一部を垣間見ることができました。



展示エリアを抜けた直営ショップでは、茂木さんが企画に関わったシイラやカワウソのぬいぐるみやキーホルダーなど、オリジナルの人気商品も販売しております。

海と自然のアドベンチャーミュージアム、新・足摺海洋館 SATOUMI、何度でもいろんな人と行きたくなる土佐清水の新しい観光スポットでした！今回ではご紹介しきれっていない見所やポイントもたくさんありますので、みなさんもぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？